

法人内の合同研修をおこないました。

去る、1月10日(月)に法人合同研修が行われました。

コロナ感染症に配慮し、各園に職員が集まった状態で zoom を使用しながら、関東8園+福岡2園、総勢約250名の研修が開催されました。

今年度は『伝える～伝承と伝達～』をテーマに、理事長の話、法人の目指す保育についての話を聞き、各園でディスカッションをしました。

その中の一つ「法人の目指す保育」についてお伝えします。

2020年度の教育改革では、小学校でプログラミングや英語、アクティブラーニングの重視など学習内容が大きく変化しました。

知識だけを増やしていくのではなく、「知識や技能を使って思考したり、表現したりする力」また、「どのように学び続けていくのか」が重視されています。

2021年度には中学校教育に新学習指導要領が導入され、2022年度には高校教育もこの教育方法の導入が進められていきます。

目まぐるしく変化し続ける時代の流れに乗って、子ども達が生きていくために必要なのは、『知識』『思考力』『人間性』である、と新学習指導要領では説かれています。

それは、今までのように知識だけに偏るのではなく、実体験も重視し、その両方を組み合わせ、生活の中で活かすことだと思います。

また近年は特に「考える力（思考力）」に加え、「自分で決断する力」「自分を表現する力」も求められています。

根っこには全て実体験が必要です。

いろいろな人と出会う中で、さまざまな考え方を知り、相手の意見も尊重しながら、自分の意志を伝えることでコミュニケーション力が上がります。

たくさんの経験をする中で、リーダーシップ力がついたり、上手くチームワークが取れたり、他者を思いやったり、豊かな感性を育んだり、貢献する力（気持ち）が育っていくのです。

そうやって、自立（自律）へ、自立（自律）へと大きく成長していきます。

子ども達には、多様化する世界に即して、楽しく自分らしく生きていって欲しいですね。

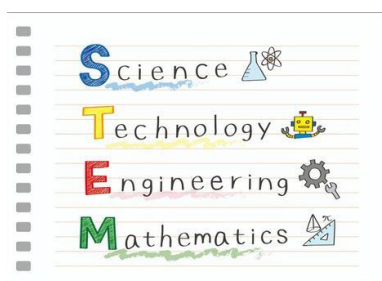
さて、このように教育が変わっていく中で、法人として、園として、子ども達に何をどのように伝えていけるか、意見交換をしました。

現在 IQ パズルやライモーン、あるて、科学など上記の学びに繋がる活動を日常の保育の中に取り入れています。

園生活の中では『できる』『できない』ではなく、子どもが自分の感性で「もっとしてみたい！」と思う活動に、取り組める環境を用意しています。

好きなことに向き合い、自分で調べたり工夫をしたり、集中する時間が大切だからです。

保育園での経験が、その先の人生の糧になり、未来を拓いていく力となるように、日々の生活や経験を学びとして大切にしていきます。



(北嶋)